

平成 2 3 年度 9 月補正予算案

規 模

	(債務負担行為	1,310万円)
一 般 会 計	30億8,427万円	
普 通 特 別 会 計	4億8,666万円	
<hr/>		
	(債務負担行為	1,310万円)
総 額	35億7,093万円	

補正予算案の概要

	(債務負担行為	1,310万円)
<u>1 一般会計補正予算案</u>	<u>30億8,427万円</u>	

	(債務負担行為	1,310万円)
(1) 緊急経済・雇用対策関連	30億5,144万円	

低炭素型まちづくりの推進（国庫補助事業） 3億7,980万円
 小倉駅及び黒崎駅のペDESTリアンデッキにおいてLED照明灯や太陽光パネルの設置等に要する経費を計上するもの。

まちの活力を創出する幹線道路の整備（国庫補助事業）
 15億9,995万円
 道路・街路の新設や改良（国道199号（砂津バイパス）ほか9路線）に要する経費を計上するもの。

安全・安心な道路空間の整備（国庫補助事業） 7億6,100万円
 道路舗装補修や交差点改良等（国道495号（桜町）ほか22路線）に要する経費を計上するもの。

	(債務負担行為	1,310万円)
子育て、福祉、教育環境の整備	2億4,764万円	

ア 保育所の適正配置 1億9,564万円
 県の子育て応援基金を活用して民間保育所の整備（新設2カ所）に要する経費を計上するもの。

イ 障害福祉施設整備事業 4,000万円
県の障害者自立支援対策の基金を活用してグループホーム、ケアホームの消防設備の整備やバリアフリー化等の改修に要する経費を計上するもの。

(債務負担行為 1,310万円)

ウ 小学校の整備 1,200万円
35人以下学級を、平成24年度から小学校3年生に拡大するに当たり、必要となる教室整備に要する経費を計上するもの。

雇用の創出 6,305万円

県の緊急雇用対策の基金を活用して追加対策を講じるもの。

全8事業 雇用者数94人(うち新規雇用88人)

ア 重点分野雇用創出事業 4,630万円
環境・エネルギー、農林水産、観光、地域社会雇用等の重点分野における雇創出するもの。

7事業 雇用者数64人(うち新規雇用58人)

イ 地域人材育成事業 1,675万円
将来の就業に必要な知識・技術をOFF-JT(講義等)OJT(職場実習等)により習得させ、地域ニーズに応じた人材を育成し、雇創に結びつけるもの。

1事業 雇用者数30人(うち新規雇用30人)

(2) 環境未来都市に向けての新たな展開 3,283万円

北九州スマートコミュニティ創造事業(コミュニティ交通調査)

1,783万円

「北九州スマートコミュニティ創造事業」で整備するICT(情報通信技術)基盤を活用した、新しいコミュニティ交通に関する社会実験に要する経費を計上するもの。

経済協力開発機構(OECD)グリーンシティプログラム推進事業

1,000万円

OECDの「グリーンシティプログラム」にモデル都市として選定されたことから、OECD調査団の受入やイベント等の開催、本市グリーン成長政策の概要作成などに要する経費を計上するもの。

北京環境交易所連携促進事業

500万円

8月1日に覚書を締結した北京環境交易所の訪問団の受入や、同交易所と市内企業とのビジネス交流会開催などに要する経費を計上するもの。

2 普通特別会計補正予算案

4億8,666万円

介護保険特別会計

4億8,666万円

平成22年度決算に伴う国、県等への返還金等に要する経費を計上するもの。